

北見武道通信

令和6年4月25日 00688号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】北見剣心館少年部のゴールデンウィークは地方遠征!



北見市武道館で稽古に励む北見剣心館少年部の皆さんは、4月27日(土)から音更町で開かれる剣道大会に出場します。団体戦・個人戦があり「個人戦に出るのが楽しみ」という伊藤敬之甫くんはなぜか余裕の表情を浮かべます。ゴールデンウィーク、子どもたちは、この大会を皮切りに釧路市、当別町と遠征が続くといいます。「子供たちは、みんなで泊まれこの遠征が楽しみなんです」と監督の佐藤素子先生は微笑みます。そうした子供たちを見るのが楽しみなのが佐藤監督なのかもしれません。〈佐藤〉

連載 中国「老子」の思想 三十章 強いものは必ず衰える

「道」にのっとりて君主を助ける者は、武力を頼って覇者になる策をとらない。むしろ兵を引いて、他国と争うまいとする。軍の行くところ、土地は荒れていばらが生える。大戦争のあとには、必ず飢饉が来る。

だから真の戦上手は、戦いの目的を果たせばただちに矛を収めて、むやみに勇名を馳せようとはしない。目的を果たして、自負せず、功を誇らず、心驕らない。戦いはやむをえず戦うのみ、勝っても強いと考えない。強いものは、必ず衰える。この道理を知らず、強さに執着するのは、「道」にはずれた行為である。「道」にはずれた行為は、長続きせぬものだ。

原文：以道佐人主者、不以兵強天下。其事好還。師之所處、荊棘生焉。大軍之後、必有凶年。善者果而已。不敢以取強。果而勿矜。果而勿伐。果而勿驕。果而不得已。果而勿強。物壯則老、是謂不道、不道早已。 三十一章に続く